

研究に関する情報公開について

研究課題	60歳以上の高齢者の前十字靱帯損傷に対する再建術の術後成績に関する検討:若年者との比較
研究機関の名称	医療法人社団友志会 石橋総合病院整形外科
研究責任者	高橋 恒存
研究対象者	2018年4月から2022年12月に当院で前十字靱帯再建術を受けた方を対象としています。
研究の目的・意義	<p>前十字靱帯再建術は膝関節内の前十字靱帯を損傷した患者様に対して行う有効な治療方法です。高齢の方が前十字靱帯を損傷した場合は、保存療法が選ばれることが多くありました。しかし、最近の研究では高齢の方でも若い方と同じように良好な術後成績が得られることが示されてきており、高齢の方への手術適応が広がりつつあります。</p> <p>一方で、60歳以上の高齢者に対して手術を行った場合の術後成績については情報が少ない状況です。</p> <p>本研究の目的は、前十字靱帯再建術を行った60歳以上の患者様の術後成績を調査して、その有効性および術後成績に関連する因子を明らかにすることです。この研究によって、60歳以上の高齢者に対する前十字靱帯再建術の有効性を示すことができ、治療方針の決定に役立てられ、有益だと考えられます。</p>
研究方法	2018年4月から2022年12月に当院で前十字靱帯再建術を受けた方を対象としています。診療録から情報を抽出、統計解析を行います。本研究では患者様から新たな情報の提供は頂きません。
研究期間	石橋総合病院倫理委員会の承認を受けてから2027年5月末まで。
研究に使用する情報	患者様の診療録より以下の情報を使用します。 年齢、性別、身長、体重、BMI、患側、術前・術後可動域、レントゲン所見、関節鏡所見、機能評価スコア。
研究に関する情報公開の方法	対象の方でご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の資料などを閲覧または入手することができますので、お申し出ください。
個人情報の取り扱い	診療録から抽出する情報は、個人が特定できないように、研究責任者が病院ID、氏名、生年月日の情報を削除し、個人の特定できる情報を新たな符合に置き換えた上で研究に使用します。データは研究責任者がリハビリテーション部門内で厳重に保管します。新たな符合と個人を特定できる対応表を同様に厳重に保管します。また、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。
研究組織名称	医療法人社団友志会 石橋総合病院 整形外科 高橋恒存（研究責任者）
問い合わせ先	【研究責任者】 医療法人社団友志会 石橋総合病院整形外科 高橋 恒存

研究に関する情報公開について

	<p>〒329-0596 栃木県下野市下古山 1-15-4 電話 : 0285-53-1134</p>
--	-------------------------------------------------------------